

2021年度第1回 開志専門職大学情報学部 教育課程連携協議会 議事録

1. 日 時 2021年9月22日(水) 14:00~16:00
2. 会 場 米山キャンパス 未来創造研究センター (一部 Zoom 会議)
3. 出席者 三上委員長、田代副委員長、木田委員、黒田委員、中野委員
原田委員、山田委員 (リモート出席)
淡路学務課・社会連携推進課課長、宮本社会連携推進課員
欠席者 落田委員
4. 会次第
 - 1) 開会の挨拶 三上委員長
 - 2) 出席者挨拶 (近況ご紹介)
三上委員長から委員名簿順に近況報告をおこなった
木田委員より、所属協会の名称変更(一般社団法人ソフトウェア協会に変更)について報告があった
 - 3) 前回議事録の確認
三上委員長より、資料1に基づき委員全員に内容確認がおこなわれた
 - 4) 情報学部について
 - (1) 2021年度の学部運営について
事務局淡路より、資料2、3に基づき情報学部の2021年度の入学選考試験・入学者状況について説明がされた
 - (2) 2021年度の教務運営について
事務局淡路より、資料4、5、6、7、8に基づき現行カリキュラム・コース・専任教員について説明がされた
 - (3) 臨地実務実習について
事務局淡路より、資料9、10に基づき臨地実務実習の目的、授業の概要、流れについて説明がされた
 - (4) 今後のカリキュラム改訂について
田代副委員長より、資料4に基づき現行カリキュラムの履修の順序についての説明がされた。また、完成年度(2024年度)からはコース科目のアップデートなどをおこない実際に基づいたカリキュラム改訂が必要である旨の説明がされた
次回以降の会で委員からの意見を反映させながらカリキュラム改訂をおこなっていききたい
 - 5) キャリアセンターについて
事務局淡路より、資料11に基づき2021年10月1日にキャリアセンターが開設予定であること、現在の進行状況と概要について説明がされた

6) その他 (質疑応答等)

●中野委員：

・定期試験は全員クリアしているか？

→再試験対象者については夏休み中に補修や学習支援センターでフォローしたが、結果的に3名が前提科目不合格のため臨地実務実習Ⅰが履修できなかった (事務局淡路)

・臨地実務実習先の割り当ては？

→学生から希望調査 (第8希望まで) をとって GPA 順で割り当てた。75%以上の人が第3希望までの実習先に決まった (事務局淡路)

今回の様子を見て、次年度からは学生の希望を優先するのではなく企業とのマッチングも考えていく必要があると考えている (三上委員長)

●黒田委員：

・日本語コミュニケーションはプレゼンテーション能力が必要だと思うがどのような指導をしているのか？

→「マーケティング」「デザインシンキング」「トプランナー研究」などの科目ではグループディスカッションをし、その後グループの意見をプレゼンするという授業をおこなっており、その中でプレゼンテーション能力が身につくと考えている (事務局淡路)

・臨地実務実習で実習先が県外の場合の宿舎は？

→共立メンテナンスという全国の学生寮を仲介する企業と提携しており、学生負担：1ヵ月 15,000 円で入寮できる (事務局淡路)

●木田委員：

・臨地実務実習では、受入れ先企業が全て実習の準備をするとなると企業側の負担が大きいのではないか？

→大学側は企業任せにせず、担当教員が準備をすることで企業の負担軽減につなげている (事務局淡路)

●山田委員：

・コース認定された人のレベルは？

→それぞれのコースで必修科目はあるものの具体的にどのようなレベルまで修得できているかを証明することは難しい (田代副委員長)

以上